

3・11東日本大震災と福島第1原発事故から6年

2万2千人の犠牲者の遺族の各家で、「7回忌法要」行われる

未だ12万3千人の被災者が、避難生活を余儀なくされる

33,748世帯 71,113人が仮設住宅で生活（原発の自主避難者を含む）

原発被災地―復興を加速させる（安倍首相）どころか、復旧のスタートに着いたばかり

今年も3月11日がやって来ました。今年も3・11から6年、犠牲者の遺族の方々にとっても、特別な年です。犠牲者の遺族の各家では、「7回忌法要」が行なわれます。辛い悲しみを思い出される遺族の方々には、再出発している自身の姿によって、犠牲者を供養してもらいたいものです。

6年経っても、未だ12万人の被災者が、避難生活を余儀なくされています。これが、世界第3位の経済大国、アベノミクスの日本の現実なのです。ちなみに阪神淡路大震災では、仮設住宅は5年間で撤去され、避難生活は解消しました。

被災地の自治体では、2時46分を前後して、犠牲者追悼式が行われました。私は、南相馬市の犠牲者追悼式に参加しました。式途中で、政府主催の犠牲者追悼式がスクリーンに写し出されました。安倍首相は、「復興を加速させる」と式辞を読み上げました。以前には、今村復興大臣が、「福島の復興は、マラソンでは30kmに到達したところだ」と発言しました。しかし、馬場浪江町長は、「原発被災地はマイナスからの出発だった。今初めてマラソンのスタート地点に立った所だ」と反論しました。福島の被災者にとっては、馬場町長の意見が実感です。

安倍首相 式辞で「原発事故」に初めて触れず一内堀福島県知事、苦言を呈す

政府主催の犠牲者追悼式で、秋篠宮殿下は式辞で、原発事故の被災者に思いを寄せました。しかし、「原発事故のために住みなれた土地に戻れない方々」（平成15・16年）と述べていた安倍首相は、今年の式辞で、「原発事故」には触れませんでした。

福島の沿岸部では、原発事故によって、津波での生存者の捜索が1カ月にわたってできなくなりました。もしも原発事故が無ければ、救えた命があったかもしれません。また、行方不明者も見つかっていたかもしれません。つまり福島においては、津波と原発事故とは、一体の災害（事故）だったのです。

3・11で日本は変わると思った。

3・11では、阪神淡路大震災に続いて、多くのボランティアの人達が、被災地で活動しました。私は、3・11によって、日本は“平和・連帯・寛容・（皆が貧しくても）平等”の社会に変わると思いました。しかし、この6年間で、政権は暴走し、国内の格差は増大しました。原発も再稼働しました。自衛隊は、災害救助から、世界中で戦争する軍隊に舵を切りました。今年の3・11は、1人1人の国民が、もう一度日本の社会のあり方と自分の生き方について、考える機会になればと思います。

【犠牲者 636 人、震災関連死 497 人の南相馬市 犠牲者追悼式 行われる】



【犠牲者 182 人の浪江町 東日本大震災慰霊碑の除幕式 行われる】



【東日本大震災の現状（人）】

| | 岩手 | 宮城 | 福島 | 全国 |
|-----------|--------|--------|----------|---------|
| 死者 | 4,673 | 9,540 | 1,613 | 15,893 |
| 行方不明者 | 1,122 | 1,230 | 107 | 2,553 |
| 関連死 | 460 | 922 | 2,086 | 3,523 |
| 各県内に住む避難者 | 14,463 | 23,853 | 39,630 | 123,168 |
| 仮設住宅入居者 | 10,383 | 11,616 | * 11,855 | 33,854 |

*原発事故の自主避難者は含まず